



夢★きらめきに

No.
28

加東市/加東市人権・同和教育研究協議会 令和2年3月1日



人権と協働を考える市民のつどい 令和2年2月8日開催 滝野文化会館

目次

- 特集「多様性と共生」…………… 2
- 園児らの共同作品…………… 3~4
- 中学生人権作文…………… 5~8
- 小中学校人権教育講演会…………… 9
- 加東市人権・同和教育研究協議会の活動・10~11
- 加東市企業人権教育協議会の活動…………… 11
- 男女共同参画コーナー…………… 12~13
- 幼児期人権教育事業…………… 13
- 第13期市民人権講座・人権と協働を考える市民のつどい・14~15
- 広域隣保活動事業・人権に関する悩みごとの相談先…………… 16

「インターネットは
楽しく便利なもの！」

社人権擁護委員協議会

加東部会長 後藤 友栄

近年、インターネット環境が整い、スマホやタブレットが普及し、つながりが飛躍的に向上しました。その中で、掲示板やSNSといったコミュニケーションの場も世界的に広がりました。外国の方とコミュニケーションがとれたり、大勢の方に一度に連絡をしたり、また特定の方たちだけのコミュニティを作って会話を楽しんだり、大変便利で楽しい時間を持つことができるようになりました。

しかしながら、匿名性を悪用して人を傷つけるような、人権を侵害する書き込みが多くなっていることも事実です。これは許されることではありません。人権とは、すべての人が人間として尊重され、自由であり、平等であり、差別されてはならないものと定めてられています。

ルールを守って、すでに生活の一部となったインターネットを便利に利用して、豊かで楽しい生活を送っていききたいものです。

多様性と共生



兵庫教育大学大学院

特別支援教育専攻

教授 石倉健二さん

今、日本を含めた世界の各地で「多様性を受け入れよう」と言う声は大きな広がりを見せています。ざっくりと言えば、見ため、文化・習慣、能力、ライフスタイルなどの違いを前提にして、お互いに認めあって生きていきましようということです。これは、自分と対立する人、関わるのに一定の労力

や時間が必要な人のことも認めていきましよう、ということでもあるので、実際にはとても難しいことです。

私は重い障害のある人とその家族の支援に関わっています。いわゆる「寝たきり」と呼ばれるような重度障害の子どもの保護者の方が、「この子に生かされている」「この子がいるから家族になれる」ということをおっしゃるのをよく経験します。本人が何をできる・できないということと関係なく、存在そのもの、生きていることそのものに意味がある、そんな考え方に触れる瞬間です。生産性や効率という言葉にはなじまない、こんな考え方が自分の一部になったのは、ある程度の現場体験と人生経験を積んでからです。

その時に感じたのは、「排除しない」ことがまずは必要だということ。今でこそ特別支援教育は広く受け入れられています。日本では1970年代まで「就学猶予・就学免除」という形で、重い障害のある子どもたちは学校教育を受けることができませんでした。数年前には、コミュニケーションができない人はいない方がよい、という考え方に基づいて起きた事件もありました。これらは何かしらの基準に基づいて、それに当てはまらない人たちを排除することそのものです。

「排除しない」ためには、「共生」という考え方が参考になります。共生社会、多文化共生、環境との共生など使われ方は多彩で、しばらく前からあちこちでよく見かけるようになった言葉です。もともと生物学の用語ですが、企業理念や行政用語としてもたくさん使われ、「ともいき」と読むと仏教用語になります。「共生」の「共に

生きる」というメッセージはマイルドで、内容がはっきりしない曖昧な表現です。この曖昧性が、白黒をはっきりさせない態度を認めることにつながると考えられています。

正しいか・間違っているか、役に立つか・立たないか、といった対立した基準で物事を考えると、基準に当てはまらないものは否定したくなります。「共生」という曖昧な考え方をすることで、対立するもの同士が否定・排除しあうことを一旦保留することができません。保留することは解決ではありませんが、「排除しない」態度と言えます。曖昧性を受け入れて、「排除しない」、まずはこのことから始めたいと思います。





園児らの共同作品

市内の保育園・認定こども園に通う園児たちが、思いやりや助け合いの気持ちをテーマに共同作品を作成しました。



加東みらいこども園
そら組(5歳児)

友だちいっぱい楽しいな

みらいこども園になって、
新しい友達がたくさんできたよ。
友達いっぱい 笑顔いっぱい 嬉しいな



加東みらいこども園
うみ組(5歳児)

笑顔いっぱい! ぽかぽか気分!!

新園舎! 友だちいっぱいできたよ。
最初はドキドキしてたけど、
気持ちがどんどん繋がった!



三草こども園
(5歳児)

みんなのこころがひとつになった

うんどうかいで
やまやおうぎをつくり、
よさこいもおどったよ



米田こども園
(5歳児)

きもちをあわせたうんどうかい

気持ちを合わせたバルーン。
教え合ったダンス。励まし合った竹馬。
たくさんの応援、ありがとう。



鴨川保育園
(4・5歳児)

こころをひとつに!

運動会では皆で力を合わせて
表現遊びをしました。
うれしくて楽しい気持ちになったよ!



正覚坊こども園
(5歳児)

たいせつなのち

「ザクザク」稲刈したよ。
お米の命をいただき、みんなでおにぎりにして
おいしくいただきます。



東古瀬こども園
(5歳児)

みんなで守るよ大切な命

みんなで育てている 冬野菜。
どんどん大きくなあれ。
僕達が野菜のお父さんお母さん。



泉こども園
(5歳児)

みんなで幸せを届けに行こう!

はくちょうに乗って
幸せを運びます。
みんなが笑顔になると嬉しいね。



椿山保育園
(5歳児)

おおぞらヘジャンプ

明るい未来・
夢に向かって
みんなでおおぞらヘジャンプ。



たきの愛児園
(5歳児)

ゆめがかなったしゅんかん

優しい気持ち・強い心・友だちとの絆
みんなの心が一つになった時、
願いが叶ったよ!!



高岡育児園
(5歳児)

みんなで こころをひとつに

大きな なかよしバルーンが ふくらんだよ。
大好きな友だちと 一緒に力をつなぐ。
心をつなぐ。



加茂こども園
(5歳児)

なかよし・えがお・なかまだよ♡

大きな恐竜も、小さな虫たちも
みんな友だち優しい気持ち♡
思いやりの心で笑顔いっぱい咲かせよう



河高こども園
(5歳児)

ぼくらはみんないきている

むしも、おはなもたいせつなともだち。
だからやさしくできるんだよ。
いきているってすてきだね。



東条こども園
(5歳児)

つなげよう ともだちバトン

一人一人の力は小さいけれど、
心をつなぐに、みんなの力をあわせれば、
大きな力がうまれたよ。



秋津保育園
(5歳児)

こころをつないで

てとてをつなげばあったかいね。
はなれていてもきもちひとつ。
いつまでも、ずっと ともだち☆

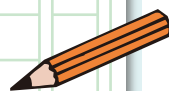


さくら保育園
(5歳児)

一人ひとりと一つひとつを大切に!

みんなの顔が違うように、色々な色がある。
それぞれ一つひとつ思いやりを持って
大切にしよう。

中学生の人権作文



「大切な存在」

社中学校 二年

山崎 陽向



今の私にとって、友達はすごく大きな存在です。友達と一緒に話したり笑い合ったりできることが楽しく、幸せです。皆さんにも友達や大切な存在がいると思います。でも、私にとって友達がすごく大きな存在になったのは、ほんの一年前くらいのことです。

それまでの私は、誰かが誰かの悪口を言っていたらそれに賛同したり、自分もそれに加わって悪口

を言ったりしたことがあります。自分が本当はそう思っていないくても、合わせておいたほうがいいと思いい、みんなに合わせていることが多かったです。

そんな時、私には、学校やラインで、遊ぶ約束をしたり、相談に乗ってくれたりする友達がいました。でも、その子のことを良く思っていない友達もいて、その子の嫌なところや、嫌いなところを他の子が言っているのを聞くことがありました。でも、その時の私はいつもみたいに周りの雰囲気に合わせてばかりで、自分が思っていることを言おうとしませんでした。

それでも、その子は私が学校を休んだときにラインをくれたり、「何かあったら相談して。」と言ってくれたりしました。でも私はいつも私に優しくしてくれるその子の気持ちを考えず、他の人の会

話を全部否定できずに合わせてばかりいました。

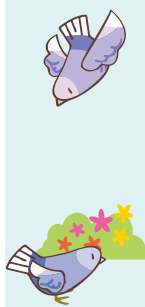
その後、私は辛いことや悲しいことがあり、悩んでいた時期がありました。親に相談することもできず、どうすればいいかわからなかったとき、その子は「大丈夫、しんどいことがあったら相談して。」と言ってくれました。その言葉が嬉しかったし、その子だから相談できたことがいくつもありました。その子は私の話を真剣に聞いてくれて、どうすればいいか一緒に考えてくれたので、私は悩んでいたことを全部話すことができ、気持ちやすくなりました。その子がいたから、私は立ち直ることができました。その子に相談していません。

だから、今の私は、その子の悪口などには賛同したり合わせたりすることはありません。自分の気持ちを素直に言うことができます。その子は、とても優しくていい子なのに、昔の私は自分のことばかり考え、他の人の話に合わせてばかりでしたが、そんな自分を今は

許せません。今の私は、その子のおかげで変わったと思います。その子のおかげで、友達の大切さや大切な友達がいることに気づくことができました。人は、こうやって変わるのだと思いました。

今、学校では、いじめみたいなものがあつたり、無視するようなことがあつたり、いじめや無視でなくても、陰口くらいは言っているまつたりすることがあると思います。でも私は、友達のおかげで今の私があることを忘れず、相手のことを考え、陰口などは言わないでいたい。もし、大切な友達の悪口を聞いたときは、昔の私のように合わせたりするのはなく、「私はそうは思わない。」と、はっきりと声に出して言いたいです。

友達や学校のみんながいるから、今、毎日楽しく幸せに過ごせています。友達の存在の大きさを改めて教えてくれた彼女にも、大切な友達と過ごせる日々にも感謝して、これからも過ごしていきたいです。



「ニュース番組から学んだこと」

滝野中学校 二年

廣田^{ひろた} 美央^{みお}



みなさんは、ニュースについてどう思いますか。私は国語の学習から、ニュースは、すばやく分かりやすく情報を発信し、それを伝えてくれる便利なものだと思いました。ですが、その情報を集める手段が少し誤っていると思います。私がそう思ったのは、あるニュースを見たからです。

そのニュースは、信号待ちをしていた保育園児の列に車が激突して小さな女の子が亡くなったというものでした。小さな命が消えたということとは悲しかったけれど、それよりも引くかかることがあり

ました。それは、命をうばったのは、車を運転していた人で、周囲の確認をきちんと行わなかったことが原因なのに、名前や顔が出ていたのは、亡くなった園児、その保育園の園長先生、副園長先生、関係者の方だったということです。さらにその方たちは会見を行っていましたが、保育園側の確認不足が原因と捉える人がいてもおかしくないような取り上げ方でした。私はそのニュースを見て「なんで保育園側が会見をしているの？」と目を疑いました。園長先生は泣きぐずれてしゃべることも出来ない状態で、見ているのが辛くなりました。そんな状況が続いているにも関わらず、質問を続ける報道陣はどうかと思いました。

私は、報道陣が取材を続ける理由は、視聴者のためになることを知ってもらうことや、この番組を見ようと思ってもらうことを目指しているからかなと思いました。しかし、テレビに顔や名前が出ると、その人はこれからの人生で、周囲の人に目をつけられて、顔を隠したり、周りの目につかないよ

うにしたりして生きていかないといけないと思います。さらにニュース番組で会見を行っているところを見た人は、その人のことを良いようにではなく、悪い方に捉えがちだと思います。あくまで私の考えなので、本当はどんな理由なのかは分からないけれど、どんな理由であっても簡単にテレビで名前や顔を出すのはいけないことだと思います。

私は、このニュースを見てから、自分も日常生活の中で偏った情報に引つ張られて人のことを決めつけていないかと思いました。これまで友達から「あの子が…」と聞かされた時、その子の話だけを聞いて、「悪い人」と決めつけることがありました。本人の意見も聞かずに勝手に決めつけていた自分に気づき、直さないといけないなと思いました。

ニュースなどのテレビ番組は視聴者の数で収入が変わってくるので、みんなに面白さや好奇心などを届けたいいけないことは分かっていますが、そのために一部の人であつても傷つけるのは間違ってい

ると思います。誰も傷つけずに面白さを生み出せるものが本当に注目される番組になるべきだと思います。私は自分が安易に人を決めつけていると知ったことで、これから正しい情報の受け取り方を身につけていきたいと強く思います。



「僕とおじいちゃん」

東条中学校 一年

都倉 健心とくろ けんしん

僕のおじいちゃんは、昨年の十二月に八十三歳になりました。とても元気です。

僕が小学校に通った六年間、暑い日も寒い日も、雨の日も雪の日も、見守り隊として毎朝いっしょに通学路を歩いてくれました。とてもありがたく思っています。

また、僕が小学校のグラウンドでお父さんと野球の練習をしていたときのことです。お父さんの投げたボールを僕が打つ練習をしました。ボールは、約五十球もあったので、ボール拾いはとても大変でした。そんなときに、おじいちゃんがわざわざ自転車できてくれ

たのです。ボールが当たったり、転んだりしたら危ないから、僕は「おじいちゃん、外で見とくだけでいいよ。」と言いました。それでもおじいちゃんは、僕といっしょにグラウンド中を歩きまわって、ボールを拾ってくれました。少しヒヤヒヤしましたが、僕を応援してくれるおじいちゃんの気持ちが伝わってきて、とてもうれしかったです。

中学生になり、僕が毎朝学校に行くとき、おじいちゃんは、家の門のところまで見送りに出てくれます。家に帰ったときは、「おかえり。暑かったやろ。」など必ず大きな声で言ってくれます。

このように、おじいちゃんは、今までずっと僕のことを優しく見守ってくれていました。

そんなおじいちゃんも、最近耳が聞こえにくくなってきています。だから補聴器をつけています。おじいちゃんがその補聴器を置き忘れてしまつて、家中を捜しまわったり、何度も大きな声で話さないと伝わらなかったり、正直時々しんどいと思うこともありました。

だけど、今まで大切にされてきたので、これからは僕が、おじいちゃんを大切にしたいと思います。そのために補聴器を寝る前にしまう場所を教えたり、話すときはおじいちゃんの顔を見て、ゆっくりはっきり大きな声で話したりするようにしています。他にも、薬を飲み忘れないように声かけもしています。

おじいちゃんもおばちゃんも、一緒に暮らしているので、これからも仲良く健康に過ごしてほしいです。そしてこれからも、僕のことを応援してほしいので、僕もおじいちゃんとおばちゃんを大切にしたいと思います。



「大好きな祖母」

兵庫教育大学附属中学校二年

木口 八雲きぐち やくも



僕の祖母は、障がいを持っています。七十三歳の祖母は、五十二歳の時に、脳内出血で倒れて、その後、右半身マヒと言語障がいになってしまいました。今は、車いす生活をしています。

よく障がいのある人を、かわいそう、と言っている人がいますが、僕は、なぜか祖母のことを、かわいそうだと思ったことはありませんでした。僕が生まれたときには、もう車いす生活で、片手しか使っていなかったはずなのに、障がいがあることを意識したのは、小学一年生ぐらいのときでした。あるとき、友達に「やつくんのおばあちゃん、

どうして車いすなの？」と聞かれて、そのときはじめて「えっ」と意識したのです。なぜ意識しなかったのか考えてみると、祖母は自分で食事をしたり、化粧をしたりしていたからです。洗濯物をたたむときも誰よりもきれいにたたんでいて、片手だということを忘れていました。

パラリンピックの選手を見たときも、かわいそうだと思って見たことがありませんでした。陸上の走り幅跳びの選手は、義足でしたが、記録に注目して見ていたので、後から特集番組で、義足を作りかえたりしている場面を見てあらためて義足だったことに気づきました。どの競技もオリンピックと同じで、競い合い戦っている姿を見ていると、不自由な部分がまったく気になりませんでした。

では、かわいそうだと思う人があるのはなぜなのか、考えてみました。僕も、言葉だけで「障がいのある人」と聞くと、できないことがたくさんあるイメージでかわいそうだと思うてしまいます。祖母やパラリンピック選手と何が違

うのかを考えると、できていないことを見てしまうので、不自由な部分のイメージが強くなり、かわいそうだと感じてしまうのではないかと思います。では、どうしてもかわいそうだと感じる人や、自分たちと違うと言って、差別する人がなくなるのでしょうか。

障がいは、生まれつきの人もいれば、祖母のように人生の途中で事故や病気になってしまう人もいます。だから、みんなにもおこる可能性があります。障がいは特別なことでも、特別な人でもないと思います。視力が下がって眼鏡をかけることも目の障がいであるし、歩けなくて車いすを使うことも同じことだと思っています。

僕は、これまで二回骨を折ったことがあります。普段の生活でしていた、階段を使う教室移動が大変でした。そのとき、友達が荷物を持ってくれたり、ドアを開けてくれたりしたので、とても助かりうれしかったです。かわいそうと思われるのは、やはりいやでした。障がいのある人の姿を見る機会が増え、がんばっている姿や、で

きることをあることを知れば、考え方や見方も変わっていくと思います。そして、さりげなく、困っていることを助けてあげることで、障がいがある人もスムーズに動いて、一緒に生活していけると思います。祖母にも、僕ができることを見つけて、さりげなくサポートしてあげたいと思います。



これらの作文は、2月8日に開催した「人権と協働を考える市民のつどい」で発表されました。

小中学校人権教育講演会

子どもの頃から、人を思いやる心の大切さ、また、夢に向かって努力する大切さ等をテーマにしたお話を聞くことで、将来に希望を持って過ごしたり、自分や周りの人を大切に考えたりできる大人へ成長することを願って平成25年度から実施しています。

日…令和元年10月1日
会場…滝野東小学校体育館
対象…滝野東・滝野南小学校5・6年生
講師…林家染太さん（落語家）
演題…「笑う門には福来たる（いじめられっ子の僕が落語家になったわけ）」

四代目林家染丸に入門。3年間の厳しい修行を終え、天満天神繁昌亭をホームグラウンドに、全国各地の落語会、テレビ、ラジオで活躍中。若手落語家コンクールでは、初代グラッドチャンピオンに輝く。講演では、自身のいじめ体験を元に「いじめは絶対したらあかん！死んだらあかん！」といじめを許さないメッセージを熱く語られました。落語を通して学んだ数々の教訓をもとに、人と人のつながりの大切さや、周囲とのコミュニケーションを取る方法などを、落語を交えた楽しい話術で伝えられました。

感想 ぼくは、染太さんの話を聞いて、改めて、いじめがどれだけダメなことなのか分かりました。どれだけいじめられていても、気持ちを切り替えて勇気を出して、大人たちに言うことが大切だと、すごく伝わってきました。いじめられているからと言って、すぐに自殺を考えたりすると、これからの自分の未来が台無しになってしまうので、染太さんの言っていた通り「逃げる」ということも覚えておきたいです。このことをきっかけに、僕も人権についてよく考えて、これからの生活に生かしていきたいと思います。



日…令和元年10月3日
会場…社小学校体育館
対象…社小学校5・6年生
講師…春川政信さん（元三木市公立学校長）
演題…「みんなが笑顔になるために（差別・いじめのないなまづくり）」

神戸大学教育学部附属養護学校勤務を皮切りに、三木市内の幼稚園、小中学校に勤務されて4年前に定年退職されました。現在は、三木市人権・同和教育協議会の副会長を務め、学校、PTA、老人会など、さまざまな世代に向けて講演されており、人権尊重の地域づくりに向けて尽力されています。講演では、姫路のおばあちゃんの九の話を、点字ブロックや国際シンボルマークの話、そして、いじめの話等、豊富な教育実践を元に様々な人権課題に触れながら、話していただきました。大事な所は真剣に、脱線する時は楽しく、聞いている人を飽きさせないお話でした。

感想 兵庫県だけでも多くのいじめをしている人がいて、びっくりしました。私はニュースで差別やいじめのことを聞くと胸がぎゅつとなります。習い事でいじめを受けている人がいました。「デブ」と言って、けなしている人がいるので注意すると、いじめている子があとも怒ってきました。こわかったけど、今では、いじめられている人とは仲良しです。「やさしくする」「いじめをしない」ということが深くわかりました。ありがとうございました。



日…令和元年10月29日
会場…社中学校体育館
対象…社中学校全校生徒
講師…小林祐梨子さん（元陸上競技選手）
演題…「人との絆（たすき）に込めた想い」

陸上競技中・長距離選手として活躍し、2006年に1500mで日本新記録樹立、北京オリンピックや世界選手権5000mに出場され、日本中から声援を受けました。現在は、ゲストランナーとして全国各地で、また、駅伝実況中継等の解説者やコメントターとして各メディアで活躍されています。

講演では、最初は夢なんて持っていなかったけど、先生や仲間と過ごす中で、夢を叶えるための具体的な目標を作って、本当にオリンピックや世界を舞台にした国際大会で活躍できたこと、家族や仲間を支えられ、夢がかなったことなどを持前の明るい人柄でお話しされ、子ども達を引きつけていました。

感想 今は自分のすごさ、良さに気づいていなくても、いつか、その才能に気づいたときに、その才能を伸ばせるような人になりたいと思いました。そして、少しでもできるようになったことは、これからも努力し続けていこうと思います。どんなに小さな夢でもかなえるために努力することか、今日、小林祐梨子さんから学んだことを少しく、これからの生活に生かせるようにしようと思いました。



日…令和元年11月27日
会場…滝野中学校体育館
対象…滝野中学校全校生徒
講師…伊藤真波さん（元パラリンピック水泳日本代表選手・義手の看護師）
演題…「あきらめない心」

看護専門学校で学んでいる時に交通事故に遭い、右腕を切断。しかし、家族や専門学校の先生の支えの中、専門学校を卒業し、神戸百年記念病院に就職し、義手の看護師として活躍するだけでなく、北京パラリンピック・ロンドンパラリンピック100m平泳ぎ・バタフライで入賞されました。現在は、子育てをしながら講演活動にも力を入れています。

講演では、つらい体験を経て落ち込む時期があったということを感じずに話され、その境地からあきらめずに努力された話は、子ども達の心に強く残りました。笑顔いっぱい話される伊藤さんは、障がいのある人のイメージを大きく変え、素敵なバイオリンの音色に、みんなが感動しました。

感想 講演を聞いて、私はとても勇気づけられました。私たちが当たり前のように持っている右手は、いつ、誰が失ってもおかしくないんだ、と考えることができました。伊藤さんは、私以上に明るく前向きで、尊敬すべき人だと思いました。大変でつらいはずなのに、なんにでも挑戦して、やってのける姿を見て、背中を押されました。今、進路でつらいけど、頑張ろうと思えました。そして、人は頑張ろうと思えば何でもできるんだということも分かりました。私も伊藤さんのように、夢をあきらめずに追い続け、強く生きたいと思います。



生きがいと幸せを築きあつて人間尊重のまちに

加東市人権・同和教育研究協議会

住民学習推進部会



活動の総括

本年度も、あらゆる人権問題を解決するための人権学習や、三世代のふれあいによる住みよい地域づくりをめざした交流学習が行われました。

人権学習では、DVDを視聴しての学習や講師を招へいしての講演による学習会などが開催されました。

テーマは、「子ども・若者の人権」（啓発DVD「君が、いるから」を取り上げた地区が多かったですが、それぞれの地区の実態に合わせて「女性」、「外国人」、「インターネット」、「部落問題」をテーマに、地区ごとに主体的に学習を展開されました。

また、全地区において、昨年度制定された「加東市部落差別の解消の推進に関する条例」を市民の皆さんに広く知ってもら

うため、区長さんや人権啓発推進員さんにリーフレットを用いてポイントを説明していただきました。今後は、参加された方が周りの人に広げていただくことや、繰り返し周知を図っていく機会を設けることが必要であると感じました。

こうした中、学習会により多くの方に参加してもらうために、工夫をされていることも報告されました。

例えば、時間帯を早くしたり、チラシを作成して全戸に配布するだけでなく個別に呼びかけをしたりするなど、地区によって効果があった方法も報告されました。

ただ、若い世代（子育て世代）の参加を増やしていくのはどの地区にも共通の悩みで、今後の大きな課題となっています。

以下、人権学習会の概要をお知らせします。

学習内容

①「君が、いるから」視聴

今年度の啓発DVD「君が、いるから」は、子ども・若者が安心できる居場所をつくることの大切さについて考えるものでした。



《感想より》（抜粋）

● 親の思いこみがいかに子どもの心を傷つけているかを子ども目線に立つて気づくことが大切だ。

● コンビニが支えとなっていた。地域にできることがもつとあるのではないか。

● 昔のように「おせっかいなおじいちゃん・おばあちゃん」として一歩踏み込む勇氣も必要だ。

● 主人公の「放つとけないです」という言葉に感動した。

②他のDVDを視聴（抜粋）

「あした咲く」…女性
「老いを素敵に」
「ここから歩き始める」

…高齢者

「秋桜の咲く日」

…障がいのある人

「ヒロシマ原爆被爆」…平和

「皮革から見える部落問題」

「生きた童話を届けたい」

「おじいちゃんは丹波杜氏」

…部落問題

「外国人と人権」…外国人

「インターネットと人権」

…インターネット

「いじめと戦おう」

「わたしもボクもみんな活き活き」

…子ども

「新・人権入門」…働く人

「え？これも人権」…一般



③講演会等

《主な講師》（順不同）

- ・春川政信さん
- ・大東太郎さん
- ・篠原嘉一さん
- ・筒崎眞美さん
- ・松本邦夫さん
- ・山本英恵さん
- ・柴崎謙介さん
- ・山羽勲さん
- ・しまむらかずおさん
- ・土肥貴雄（人権教育推進員）
- ・藤原正幸（人権教育推進員）



④現地研修

特別助成金を活用して、人権関連施設で研修

- ・舞鶴引揚記念館（舞鶴市）
- ・ツラッティ千本（京都市）
- ・長島愛生園（瀬戸内市）
- ・鵜野飛行場跡（加西市）

学校教育部会

公開授業・保育

学校教育部会では、年間3回の人権・同和学習の公開授業・保育を行っています。23名の部員が参観し、公開後の研究協議を通して、今年度の活動の方向である「豊かな人権感覚を育む人権・同和教育の推進」地域と人との関わりを大切にしながら、発達段階に応じてどのように実践していくか」にせまる授業・保育改善に努めています。2月8日に行われた「人権と協働を考える市民のつどい」では、中学校の実践を発表しました。

中学校公開授業

(10月1日)



第1学年

指導者 福井恭子さん

題材 「プロレスごっこ」

ねらい

望ましい友人関係や学級を築くために、周りの友達の違いに気づき、相手の立場に立つて考える姿勢を身につける。いじめは重大な人権侵害

であるという認識の上に立ち、いじめをしない、許さないという態度を身につける。

参観者の感想

中学生活の中で身近に起こりそうな題材を取り上げることと「自分がいじめられたらどうしよう」などの本音が引き出せていたと思います。そこで、ただの傍観者から「僕」のような行動に移せる子を育てていくことが大切であると感じました。

滝野東小学校公開授業

(10月25日)



第2学年

指導者 宮長遼司さん

題材 「ハンナのなみだ」

ねらい

他の国の人々とも心が通じ合うことのうれしさを感じ、他の国の人と進んで親しくしようとする態度を養う。

参観者の感想

身振り手振りや、よし子の役割演技など、実際に体験させたり見せたりしながら進めていくことで、子ども達の理解も深まり「やってみよう」「考えてみよう」という意欲にもつながっていると感じました。よし子やハンナのプラスの気持ちとマイナスの気持ち

ち両面からよく考えていて、多くの意見が発表できていました。

椿山保育園公開保育

(11月14日)



3、4、5歳児

指導者 横山郁子さん、灘加奈さん、久保恵さん、小林郁代さん

テーマ 「いっぱい あそんだよ！」

異年齢の関わりの中で、異年齢の遊びを通して、友達や異年齢と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。異年齢と一緒に体を動かすことを楽しむ。

異年齢の子と違い、好きな遊びに熱中して遊びこんでいる姿がとてすてきだと思いました。それぞれが役割になりきって、楽しんでいました。5歳児の中には片づけの声をかけたり、時計を見たりして、自主的に動こうとしていました。また、5歳児が自然に小さな子の手をつないで誘う等、思いやりのある関わりがよいと思いました。

加東市企業人権教育協議会の活動②

『受け継ぐ確かな実践、進めよう明るい職場づくり』

◆本年度の取組 (10月～1月)

第4回社員研修会 (10月28日)

『部落差別のいまを考える』

神戸学院大学 現代社会学部教授 神原 文子さん

2018年度兵庫県人権意識に関する県民調査から同問題に関しても、先進市の事例をもとに人権問題学習の効果について学びました。



で今日の繁栄があることを学びました。さらに、龍安寺では、ボランティアの素晴づくりの技術を持つ山水河原者(中世で差別された人たちが造ったとされる「石庭」を見学しました。



第5回社員研修会 (1月31日)

①講話「見逃さないでこころのサイン」大切な命を守るためにあなたができること」

健康課 下崎 ユカさん

加東市における自殺と自殺対策の現状・課題の説明を受けた後、ストレスのセルフチェック・ストレスの解消法について学びました。

②「心と体がよみがえるヨガ」

ヨガインストラクター 競 梨恵さん

前田 真知子さん

「心と体が健全であってこそいい仕事ができる」と意欲的に実技研修を受けていただきました。



①ツラッティ千本 (京都市人権資料展示施設)
②葛野大堰
③龍安寺
ツラッティ千本では、講話とともに、千本部落(地域)の歴史について古地図をもとに説明を受けたり、共生・永住・自治のまちづくりについてパノラマ模型をもとに説明を受けたりして研修しました。

また、国際交流ゆかりの地「嵐山の葛野大堰」では、朝鮮半島から渡来した秦氏のおかげ

男女共同参画セミナー

男女共同参画をすすめるための取り組みとして、家庭や社会の中の性別役割分担意識を見直したり、スキルを身につけたりすることを目指す「男女共同参画セミナー」を開催しました。

10/31に開催

女性のためのチャレンジ相談

相談員：飯鉢 仁弥さん（キャリアコンサルタント、産業カウンセラー）

◇女性を対象とした個別相談。相談員が、今後の働き方など、それぞれのライフプランに沿ったアドバイスをしました。

【感想】 ◆仕事のことに限らず幅広い相談にのってもらい、アドバイスをいただいて、とても勉強になりました。

11/7に開催

ライフプランとかしこいお金の貯め方・ふやし方 ～すごろくマネーワークショップ®～



講師：大津 恵美子さん（社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー）

◇すごろくを使ったワークショップで楽しみながら、ライフプランを考え、お金に関する知識を学ぶことができました。

【感想】 ◆具体的に、人生においてのお金の必要性が分かりました。
◆すごろくマネーワークショップを使用して、楽しく学ぶことができました。

11/22に開催

これからの「私」を考えよう ～5年後輝くためのライフプラン・キャリアプラン～

講師：飯鉢 仁弥さん（キャリアコンサルタント、産業カウンセラー）

◇少人数でざくばらんにおしゃべりをしながら、講義を受けたり、意見交換をしたりしました。ワークを通じて自分らしい生き方・働き方などを発見しました。

【感想】 ◆自身の人生をたのしく描きだすことができました。
◆具体的に自分で考えられる内容で良かったです。



12/8に開催

リラクゼーションヨガと男性料理教室

講師：競 梨恵さん（にこにこサロンKIRAKU）



◇日頃の家事や育児、仕事などの疲れを軽減するとともにリラックスの方法を学ぶことができました。

【感想】 ◆優しい指導でリラックスしてできました。
◆普段伸びていない部分を気持ちよく伸ばすことができました。

講師：松本 康晴さん（元ピストロエマンジェオーナーシェフ）

◇おしゃれなクリスマス向けの料理にチャレンジしました。作った料理はヨガ教室に参加したペアの女性とお二人でなかよく試食しました。

【感想】 ◆料理の楽しさを知ることができました。
◆作りやすく普段しない料理なので勉強になりました。



1/17、21に開催

シェフに習う男のクッキング教室

相談員：松本 康晴さん（元ピストロエマンジェオーナーシェフ）



◇手軽にそろえることのできる食材で、簡単で本格的な料理に挑戦しました。和気あいあいとした雰囲気で作ることができました。

【感想】 ◆思っていた以上に本格的な内容を教えていただくことができました。
◆簡単なのに今まで作ったことのないお店のような味にできました。



2019年 ジェンダーギャップ指数 日本は過去最低の121位



前号（令和元年10月1日発行No27）でお知らせした、各国の男女の格差を分析した「ジェンダーギャップ指数（Gender Gap Index: GGI）」。昨年12月17日、世界経済フォーラム（WEF）は2019年版を公表しました。

日本は、調査対象となった153か国中、121位（2018年は149か国中110位）。過去最低の順位だった2017年の114位（同年の調査対象は144か国）よりさらに下位で、G7の中では依然最下位です。日本が例年、低い順位にとどまっている主な理由は、経済と政治の分野における男女格差が大きいことです。

ご存じですか？「男女共同参画社会基本法」

わが国の憲法には個人の尊重、男女の平等がうたわれていますが、実際には、大切な意思決定の場に女性が加わっていなかったり、職場や家庭などさまざまな場で男性の方が優遇されていると感じたりすることがあります。

また、少子高齢化など私たちの生活をめぐる状況が変化している中で、性別による固定的な性別役割分担にとらわれずに、あらゆる分野でそれぞれの個性と能力を発揮できるような社会づくりが重要となっています。

誰もが互いの人権を尊重する社会を築くため、また、社会経済情勢の変化に対応できる活力ある社会を築くため、平成11年に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行されました。

この法律は、男女共同参画社会の形成のための基本理念として、①男女の人権の尊重、②社会制度や慣行について配慮すること、③政策等の立案及び決定への共同参画、④家庭生活と社会活動の両立、⑤国際社会との協調を掲げ、次いで国・地方公共団体・国民の責務を定め、さらに国の男女共同参画計画の策定や年次報告等の作成などについて規定しています。

調べてみよう！
「男女共同参画社会」
って何だろう？



幼児期人権教育指導者養成セミナー・幼児期人権教育親子セミナー「みんな、たいせつ」

和歌山県で開発された「みんな、たいせつ」プログラムは、感性が著しく発達する幼児期に、「愛されている」「大切にされている」「私も、あなたも、みんな大切」そして「みんな同じ、生きている」ということを体験的に学ぶことで、「思いやり」や「いたわり」の心をはぐくみ、差別やいじめを生み出さない絶対人権感覚を養うことを目的としています。

今年度は「みんな、たいせつ」プログラムを市内3園の親子66組を対象に、Kids Firstカウンセリング代表の中本 久美さんに実施していただきました。また、指導者養成セミナーを市内保育教諭14名が受講し、指導者として日々の保育の中で実践されています。

セミナーを受講された保護者の方からは、「幼児期に一杯愛情をもらうことで、自己肯定感が育つということで、この時期に親子でこのセミナーを受けることはとても大きな意味があると思います。受講できてよかったです。」「普段は仕事や家事で、子どもとゆっくりと触れ合う時間は少ないのですが、セミナーでの触れ合い遊びの中で嬉しそうなお子さんの顔が見られて、温かい気持ちになりました。」などの感想も聞かれ、お子さんへの愛情やお子さんからの愛情を再確認し、親子で「愛されている」ことを実感されていました。



▲幼児期人権教育親子セミナー「みんな、たいせつ」



▲幼児期人権教育指導者養成セミナー

第13期加東市民人権講座

第3回 (11月30日)

「本当は身近なLGBT」

編集者・ライター。

LGBTエンタメサイト「やる気あり美」編集長

太田 尚樹さん

LGBT (性的マイノリティ) について楽しく知ってもらうことを目指したWEBサイト「やる気あり美(み)」の編集長として活躍されている太田尚樹さんにご講演いただきました。LGBT当事者(ゲイ)として生きている自身の経験をおしえて、LGBTとは何かや、LGBT当事者の多くが、まだまだ様々な偏見や差別を受けながら、過ごしていることなどを分かりやすくお話いただきました。



《感想》

● はっきり言ってLGBTという言葉すら知らなかったけど、このような話が聞けて心から良かったと思いました。(40代)

● 理解していたようでそうでなかったLGBT。今日の講演で再認識いたしました。この講座の内容を友人たちにも伝えたいと思います。(60代)

人権と協働を考える市民のつどい

2月8日(土)に、滝野文化会館で「人権と協働を考える市民のつどい」を開催しました。

市内4校の中学生による人権作文の朗読をはじめ、地区住民学習、企業人権、学校の実践発表、まちづくり活動の成果発表を行いました。そして、講師として、輝く加東まちづくりコンソーシアム 会長 荒木勉さんにお話しいただきました。

・・・プログラム・・・

■ 人権作文の発表 (作文はP5～8に掲載しています。)

- ・ 中学校2年生 山崎陽向さん 「大切な存在」
- ・ 滝野中学校2年生 廣田美央さん 「ニユース番組から学んだこと」
- ・ 東条中学校1年生 都倉健心さん 「僕とおじいちゃん」
- ・ 兵庫教育大学附属中学校2年生 木口八雲さん 「大好きな祖母」

■ 実践発表

- ・ 天神地区 人権啓発推進員 都倉純也さん
- ・ みのり農業協同組合 赤坂智哉さん
- ・ 社中学校 福井恭子さん

■ まちづくり活動成果発表

- ・ 社高等学校生活科学科の皆さん
- ・ 千燈会実行委員会の皆さん
- ・ コスモス加東少年少女合唱団の皆さん

■ 講評

輝く加東まちづくりコンソーシアム

会長 荒木勉さん

登録されていますか？

本人通知制度！

代理人や弁護士などの第三者が、住民票の写しや戸籍謄抄本などを取得した場合に、本人に知らせる制度が「本人通知制度」です。不正取得の発見につながります。通知を希望する人は事前登録が必要です。登録手続きをしましょう。
※市ホームページから詳細をご覧ください。

加東市本人通知制度 検索



加東市本人通知制度



身元調査だけでなく、車庫証明の不正利用(いわゆる「車庫とばし」)に使われるかも! 「ひとごと」じゃないですよ!

【お問い合わせ】市民課 (庁舎1階) ☎43-0390

第13期加東市民人権講座修了者一覧

第13期加東市民人権講座を3回（2回と補講を含む）受講され、修了された皆さんです。さまざまな人権課題について学習していただきました。学んでいただいたことを活かし、地域のリーダーとしてご活躍されることを期待いたします。（敬称略）

【社一区】	池見 学	藤野博志	【やしろ台】	小島美保			
【社二区】	上月伸二		【上鴨川】	小東裕介	中谷真幸	大畑典一	
【社三区】	奥田泰五		【平木】	清水谷美穂	吉田由香		
【社四区】	豊永圭治	大西一友	山田圭堂	加藤公一郎	【光明寺】	松岡雄司	
	田端 勝				【上滝野】	藤田あつ子	山北かすみ 桑野もとみ
【社五区】	石田健太郎	渡邊章子	藤原美佐夫	藤原信昭	【下滝野】	内藤泰一郎	山口守正 若宮康裕 多比良弘美
【ひろのが丘】	大前郁子	藤原哲史	仲西清美	藤原弥生		藤本麻子	柳川泰子
【藤田南】	岸本晃幸	名村美樹	棚倉朋子	高瀬雅清	【新町】	西山俊之	岩根 清 藤本和久 片浦史明
	内橋 誠					片浦美香	
【嬉野台団地】	洞出裕之				【北野】	森本英明	吉田リエ 真鍋貴子 有馬麻世
【山国】	井上 聡	山田泰司	友原純子	石井貴代子	【穂積】	神戸友子	
	藤本悦子				【稲尾】	大橋美智子	竹本加代子 吉田好美
【出水】	藤井信一				【曾我】	竹内伸明	
【田中】	岡本智宏				【多井田】	山崎敏行	富永茂子
【貝原】	時本義晴	中西清一			【河高】	藤井晃輔	陰山 衛 吉村龍平 丸山泰子
【野村】	山口雅隆	伊沢勇輔	西山善雄	藤井孝泰		大久保正和	原 勝義
【西垂水】	上月嘉雄				【高岡】	藤井万一	山崎浩史 塩谷義雄 坂口正志
【窪田】	柴垣龍一	前田利久				岩崎 稔	常峰和子
【家原】	宮内喜代美	白井愛子	大熊しのぶ	山本佳子	【天神】	都倉純也	田中美紀子 日置和子
【上中】	松原裕基	依藤すみ子	松原恵子		【袴鹿谷】	萩原麻里奈	
【上中団地】	中嶋佐代子				【古家】	大野直樹	岸本照美
【梶原】	安達 保	清水ひろみ			【常田】	下羅貴章	若林初実
【喜田】	中島 浩	徳平史加	宮野 俊	服部裕史	【秋津台】	縄舟憲子	
	岸本和也				【西戸】	石田幹治	井上たづ子
【福吉】	玉井克知	玉井秀樹			【貞守】	八尾昌彦	
【上田】	石井京子	時本しのぶ	長井拓也	吉川勇樹	【長井】	今津勝也	橋本義弘
	長谷川智之				【黒石】	豊田雅晴	山口周一
【大門】	石井晃実	楫 洋一			【永福台】	石坪信子	
【西古瀬】	友藤正弘	大熊智子	友藤知子	友藤悦子	【横谷】	今村清栄	中上美香
【中古瀬】	小林康子	小林啓子			【森】	二位和秀	
【東古瀬】	小多善功	内藤拓也			【南山】	福井 諭	山本政義 武田秀樹 藤原慶一
【東実】	山中 仁	山口末祐	山口 薫		【岡本】	藤原路寛	片山恭子 柴崎恵子
【畑】	田中隆文				【岩屋】	田中勝美	
【上久米】	神澤有毅	伊藤昭成	大西順子	山本和枝	【新定】	都倉圭子	上田美智子
【下久米】	山本勝明				【吉井】	藤原志津子	藤原由香
【久米】	前田将臣	中河勝正			【小沢】	藤原晴貴	
【上三草】	西山俊治	阿倉政明	奥村邦恭		【栄枝】	藤原正和	
【下三草】	森本昭彦	大西忠行			【松沢】	藤原宏文	
【木梨】	白井純男	白井伸明	白井康則		【大畑】	村上好和	
【藤田】	藤原博幸	上山光子	藤原康美	大林ひさ子	【蔵谷】	勝田祥之	近澤千佐子
【山口】	藤原政明				【藪】	藤井みさ子	
【牧野】	吉田和彦				【依藤野】	松田奈津美	
【吉馬】	岸本直樹				【嬉野東】	立岡高昭	

広域隣保活動事業

加東市では、広域隣保活動事業として、福祉の向上や人権啓発のための各種の事業を実施しています。特に最近では、市民の交流を推進し、福祉や人権課題の解決のための各種事業を実施しています。

今年度実施事業

◆特設総合相談

7月・11月・3月

◆隣保館人権相談

毎週水曜日14時～16時

◆隣保館だより

毎月1回発行

◆コミュニケーション麻雀

8月に4回実施。

通常の麻雀よりルールが簡単で、大きな牌を使って、数字や絵柄を合わせていきます。

小学生も参加して三世代の交流ができたところもありました。

◆読み聞かせ

地域に学ぶ体験学習支援事業の一環として、加東市中央図書館と連携して、隣保館や学校で実施しました。

◆ラフター（笑い）ヨガ

免疫力アップ・脳の活性化・人間関係の円滑化といった三大効果があり、誰にでもできる笑いの健康法を1月に体験しました。



◆音楽療法

懐かしい歌を歌ったり、歌に合わせて動作をしたりしながらリラクゼーションを体験しました。音を楽しみながら、心も体もスッキリできたひと時でした。

◆回想法アフター

おしゃべりを通して一人ひとりの懐かしい記憶に働きかける回想法。認知症の予防と地域交流を目的としてグリコピア神戸・神戸ワイナリー・道の駅みきに行きました。大人気の事業で、今年は123人の参加となりました。

◆人権講演会

「激変する社会と新たな人権課題」――IT革命と部落差別解消推進法施行をふまえて



近畿大学人権問題研究所

主任教授 北口 末広さん

インターネット社会における人権課題と部落差別解消に向けた取組について学習しました。



次年度も、より一層充実した広域隣保活動事業になるように考えています。

発行

加東市

加東市人権・同和教育研究協議会

◆人権に関する悩みごとの相談先◆

差別、いじめ、いやがらせなど、人権に関する問題でお困りの場合は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

☎ 電話で相談 ☎

- **法務局**【いずれも平日8:30～17:15】
常設相談（みんなの人権110番）
☎0570-003-110
子どもの人権110番
☎0120-007-110
女性の人権ホットライン
☎0570-070-810
- **公益財団法人 兵庫県人権啓発協会**
【平日9:00～17:00】
☎078-242-5355
- **加東市人権協働課**【平日8:30～17:15】
☎0795-43-0544

👤 面接で相談 👤

- **法務局の常設相談**【平日8:30～17:15】
法務局職員もしくは人権擁護委員が相談を受けています。
神戸地方法務局社支局 ☎0795-42-0201
- **人権相談**【10:00～11:30】
相談員は人権擁護委員です。
・第2金曜日 はびねす滝野
・第3金曜日 社福祉センター
・第4金曜日 東条公民館（とどろき荘2階）
- **隣保館人権相談**【毎週水曜日の14:00～16:00】
窪田隣保館において人権協働課職員が相談を受けています。
加東市人権協働課 ☎0795-43-0544